令和６年２月１日号
2月
NO.83
おおい町かわらばん
発行・編集／大井地域自治区運営協議会　恵那市長島町正家 1-1-1
電話：0573-25-8220　FAX：0573-26-0596　mail：ooijichi@gmail.com

七日福市 －多くの人でにぎわいました－

一月七日の七日福市は、市神神社から行在所周辺で約一万五千人の人出がありました。

各ブースで、様々な催しがあり大盛況でした。

地元大井町をはじめ武並や岩村、山岡、上矢作などからおいしい物を集めた食べ物ブースや、キッチンカーも並びました。

大道芸オマールえび

こども縁日輪投げ

お汁粉配布

大井文楽人形操作体験

中津高校・中京高校生が縁日を開き、輪投げコーナーやくじ引き、駄菓子店を開きました。

行在所では、恵那文楽の人形展示と操作体験、紙芝居や大井恵那峡とんとん節の上演などありました。

防災リーダー会は炊出し訓練も兼ねて、お汁粉の無料配布をしました。

大井恵那峡とんとん節

災害支援募金活動

入館無料

阿木川ダムの湖底に沈んだ
古代の複合遺跡 おおわご

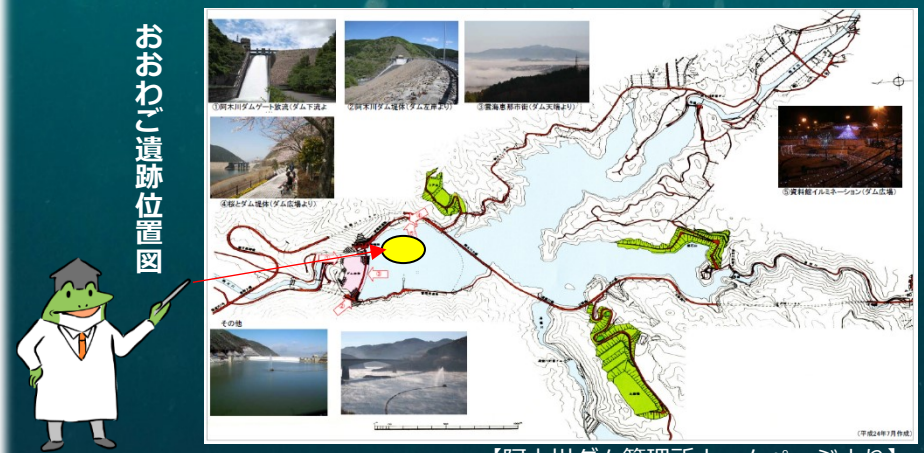
おおわご遺跡出土品展

～縄文時代のおおわご遺跡とその他の恵那市の縄文の遺物を展示～

開催期間：現在開催中～　3 月 31 日（日）まで

場所：中山道大井宿　明治天皇大井行在所（火曜休館）

おおわご遺跡位置図



【阿木川ダム管理所ホームページより】

おおわご遺跡は縄文・弥生・古墳の三時代の遺跡です。
今回は縄文時代を中心に恵那市内の縄文遺跡を Part 1 として、次回は弥生時代と古墳時代のおおわご遺跡を Part 2 としてご紹介いたします。

フルーツで生活に彩りを
りんごハウス
こだわりのフルーツ・季節のフルーツ・野菜を
新鮮・ボリューム、納得の値段で販売！
(有)グリーンズ木曽　TEL：0573-59-4350
恵那市大井町観音寺 2695-855

フヂシマヤの
入学応援セール
有名ブランドの制服
20% OFF
■取扱中学校
恵那市
東中・西中・北中・岩邑中
明智中・山岡中・串原中・上矢作中
中津川市
坂本中・第二中・蛭川中・付知中
福岡中・阿木中（男子）
瑞浪市
瑞浪北中（男子）
恵那市プレミアム商品券 青券・赤券
エーナ Pay もご利用いただけます！

かわらばん応援店

防災士功労賞を受賞

大井町地域防災パトロール隊の隊長岩井慶次さんが、長年の防災に関する活動が評価され、二〇二三年防災士功労賞個人の部を受賞しました。

同表彰は、防災士制度を推進する認定特定非営利活動法人日本防災士機構が、防災士としての活動や社会貢献活動に大きな功労があった防災士を表彰するもので、毎年八程度の団体・個人を表彰しており、岩井さんは岐阜県では初めての受賞者です。

岩井さんは、県内の小中学校で防災教育を行ったり、市内一三地区の防災計画を推進してきました。

市民三学大井委員会　読み聞かせ隊

一月七日（日）の七日福市で、大井行在所内で紙芝居を上演しました。

一月十四日（日）、飯地町で、どんど焼きが行われ、読み聞かせ隊が今回はじめて、紙芝居を披露しました。

恵那市伝統芸能大会

一月十四日（日）に恵那文化センターで開催された市伝統芸能大会で、大井町から三団体（岡瀬沢浅間七福万歳保存会・大井恵那峡とんとん節保存会・大井文楽保存会）が参加しました。

今年は、市制二十周年記念の年でもあり、中村いてうさん演出の演目で大会を盛り上げました。

【大井恵那峡とんとん節】

【大井文楽】

【浅間七福万歳】

大井町の歳時記

岡瀬沢浅間七福万歳初舞

毎年元旦零時と共に岡瀬沢浅間神社で奉納される七福万歳。

ここ最近どんど焼きをやる地区も減ってきました。変わらず行っている地区もあります。

続けていけると良いですね。

学校通信

大井小学校三年生がスケート教室に参加しました。約五十人の児童のうち、大半が初心者ということもあり、保護者にボランティアを募り、靴紐を縛るお手伝いをしていただきました。

四名のコーチから、靴の履き方や安全に滑るためのルールを教えてもらった後、リンクに向かいました。最初にペンギン歩き、やじろべえの動きを教わりました。おぼつかない足どりだった子も、コツが分かると、段々と上手になり、慣れてきたところで、手すりのない広いリンクに移り、笑顔で滑走しました。

東中学校生徒七日福市で活躍

恵那東中生徒がボランティアとして、七日福市の各ブースで活躍してくれました。

【募金の呼びかけ】

【お汁粉配布】

❖大井町の 地名の由来 Vol.41

深沼 ―ふかぬま―

【恵那駅前（現在の深沼一帯）】

今では沼の名残は感じられませんが、現在の恵那駅前一帯です。

大きな沼があった沼地で、この辺りは、川の水が集まって阿木川へ流れていました。

沼田とよばれ膝あたりまで足が入ってしまい、足を抜くのに大変な田で、歩くことが出来ないような土地であったようです。

こうしたところから、深沼の地名が付けられたと思います。

明治三十五年に中央線が開通した時は、槙ヶ根から全体に土地を高くして、駅が作られました。

この辺りの土地は、信濃屋さんあたりが、元の高さであったようです。

【信濃屋前】

大雨が降れば、水が入って来て大変だったといわれていましたが、今では、排水施設もよくなって、雨水の水捌けもよくなったように思います。

昭和十九年十二月七日の東南海地震の時には、土田屋さんの前の角のところから、ぼぼこと水が流れ出て、道は上下にうねり、歩くのに大変でした。駅へ来てみると、駅前は足首あたりまで水浸しでした。

埋め立てた土地であることがよくわかりました。

（中山道かたりべの会　西尾　重人）

かわらばんこぼれ話

暦の二十四節気の立春は２月４日です。春のはじまりとは言え一年の内一番寒さを感じる月です。少しでも暖かくなればと町内を歩いていると、とても暖かそうなヘアスタイルの彼？彼女？に出会いました。髪をのばし始めて 4～5 年になるそうです。

寒さ厳しい冬でも緑の髪はいきいきして心を温かくしてくれます。町ゆく人たちに元気を与え続けることでしょう。

-M･H-

地　区	１月1日現在	前月比	前　年同月比
大井町人口	12,664 人	8	-108
世帯数	5,611 世帯	14	60
高齢化率	30.06%	-0.03%	0.01%
市　人口	46,868 人	-80	-696
世帯数	20,003 世帯	1	143
高齢化率	36.03%	0.04%	0.27%

※高齢化率は人口に占める 65 歳以上の比率